

※特に断りの無い限り日付は日本時間です。

## “今週の国際宇宙ステーション(ISS)”

★最初のISS構成要素打上げから2265日経過しました

★第10次長期滞在クルーのISS滞在は109日経過しました

★ISS動向

第10次長期滞在クルーのリロイ・チャオとサリザン・シャリポフ両宇宙飛行士は、先週、船外活動(EVA)を主とした多忙な週を過ごしました。

ふたりは1月26日にロシア製宇宙服を着て船外活動を行い、「ズヴェズダ」(ロシアのサービスモジュール)の外壁にロシアの作業プラットフォームの取り付けと配線を行い、その上にドイツのロボット実験装置(RovISS)を取り付けました。また、RovISSのアンテナを設置するために日本の実験装置である微小粒子捕獲&材料曝露実験装置(MPAC&SEED)の設置場所を変更し、さらに環境制御装置の動作を不安定にする原因になりそうな汚染物があるかどうかを調べるために、排気口の検査と写真撮影を行いました。

5時間28分におよんだ船外活動は、1月26日午後10時11分に「ピアース」(ロシアのドッキング室)のハッチを閉じて終了しました。

今回はISSで行われた57回目の船外活動で、ISSのエアロックを使用したものとしては32回目です。次の船外活動は3月に予定されています。



船外活動の様子  
シャリポフ宇宙飛行士とロシア製宇宙服(ピアース内)

## “スペースシャトル飛行再開に向けて”

★最初のマラソンシミュレーションを完了

STS-114ミッションのクルーと地上の管制官達が参加して本番さながらのシミュレーションを行いました。これは「ロング・シム(long sim)」と呼ばれ、軌道上点検、ISSとのランデブー、ドッキングを含む飛行2日目と3日目を36時間にわたって続ける総合リハーサルです。

STS-114クルーは、スペースシャトルシミュレータとISS訓練施設に分かれて参加し、管制官達もフライトコントロールルーム、シミュレーション・コントロールルーム、そして支援する技術者達が詰める多数のバックルームに分かれて参加しました。

STS-114クルーは起床している時間に合わせて2日間参加し、管制官達は24時間体制で交代シフトを組んで参加するという初の24時間体制2日間連続シミュレーションです。シミュレーション・プランニングチームは、故意にトラブルを発生させSTS-114クルーと管制官の対応を試します。

通常では、1回のロング・シムを行うか、1度も行わないまま飛行しますが、今回のミッションではこのような訓練が数回行われます。これはSTS-114が複雑なミッションになったことと、この2年間スペースシャトルの飛行が停止されていたので、地上の要員の技術を維持するためにも必要なことです。

次の36時間シミュレーションが間もなく実施され、その後には48時間シミュレーションも予定されています。



船長のアイ琳・コリンズ宇宙飛行士



フライトディレクタ



シミュレーション・スーパーバイザー



シミュレーション・インストラクター

## “インフォメーション”

★ようこそ先輩、若田宇宙飛行士の課外授業

筑波宇宙センターで若田宇宙飛行士が先生となって出身校である小学校の児童に対して課外授業を行う「ようこそ先輩」の収録が行われました。

児童の皆さんには、宇宙飛行士になるための条件や宇宙空間がどのような所か若田宇宙飛行士の説明に耳を傾け、宇宙飛行士の訓練施設に入ったり、「きぼう」日本実験棟の運用管制室で与えられたミッションをこなすなど、貴重な体験をしました。

この模様は、2005年2月6日(日)午前8時25分からNHK総合テレビで放映される予定です。



若田宇宙飛行士の助言を受けながら「きぼう」運用管制室で与えられた課題を進める子どもたち

問い合わせ先: 宇宙航空研究開発機構 宇宙ステーション・きぼう広報・情報センター TEL: 029-868-3074

ホームページ <http://iss.sfo.jaxa.jp/>

Eメール [kibo-pao@jaxa.jp](mailto:kibo-pao@jaxa.jp)

ウェブマガジン登録 <http://iss.sfo.jaxa.jp/weekly/index.html>

※「ISS・きぼう ウィークリーニュース」に掲載された記事を転載する場合、本ウィークリーニュースから転載した旨を記述ください。